

2021年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワーデザイン			履修区分	必修	選択		
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学		
開講時期	通年	時間数		225	単位数	7.5		
授業概要	初めて切り花を扱うことを前提とし、切り花の仕組みや取り扱い方・デザインを行うための道具やその使用方法・基本形について学ぶ。基本的な知識と技術を習得する。			到達目標	切り花の正しい取り扱い方・水揚げ方法、道具の正しい使い方を身に付けること、スパイラルテクニックやアレンジの基本形の制作技術を身に付けることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	小池智子	本校卒業生であり生花店、レストランウェディングフラワー部門での勤務経験をもつ。在学当時から磨いてきた基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開する。						
	高野真樹子	本校卒業生であり生花店での勤務経験をもつ。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして勤務。その経験をもとに、基本知識・技術の指導とフローリストとしての心得を指導。						
	小笠原未希	本校卒業生であり生花店、ホテルウェディングフラワー部門での勤務経験を持つ。フラワーデザインの基本を身に付けており、講師の助手として学生のフォローにあたる。						
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書（NFD） 自作プリント							
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授業計画

回	指導項目	指導内容	備考
1	フラワーデザイン概論①	授業の流れについて説明 フラワーデザインの歴史と概要 道具・資材類の説明	小池・高野・小笠原 講義
2	資材類の基礎テクニック	ナイフの使い方・ワイヤリング・テーピング 方法の習得、コサージュ制作	小池・高野・小笠原 講義・演習
3	切り花の取り扱い方①	植物のしくみと水揚げの原理	小池・高野・小笠原 講義・演習
4	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野・小笠原 演習
5	アレンジメント	クラシック 立体構成 ドーム	小池・高野・小笠原 演習
6	フラワーデザイン概論②	切り花の取り扱い方②	小池・高野・小笠原 講義
7	花束・アレンジメント	スパイラルテクニックの習得 ラウンド、ドーム型復習	小池・高野・小笠原 演習
8	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野・小笠原 演習
9	アレンジメント	クラシック立体構成 コウン	小池・高野・小笠原 演習
10	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野・小笠原 演習
11	アレンジメント	クラシック 立体構成 ホリゾンタル	小池・高野・小笠原 演習
12	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野・小笠原 演習
13	復習 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野・小笠原 演習
14	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野・小笠原 演習
15	アレンジメント	クラシック 直線構成 トライアングュラー	小池・高野・小笠原 演習
16	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野・小笠原 演習

17	アレンジメント	クラシック 直線構成 ファン	小池・高野・小笠原 演習
18	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野・小笠原 演習
19	アレンジメント	クラシック 直線構成 オーバル	小池・高野・小笠原 演習
20	花束	スパイラルテクニックの復習 ワンサイド	小池・高野・小笠原 演習
21	アレンジメント	クラシックスタイルの復習 直線構成	小池・高野・小笠原 演習
22	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ワンサイド クラシックスタイル 直線構成	小池・高野・小笠原 演習
23	花束・アレンジメント	お悔やみに関する花の知識の習得 お悔やみを意識した花束とアレンジメント	小池・高野・小笠原 講義・演習
24	模擬店舗①	花束 アレンジメント ※水揚げしてから使用	小池・高野・小笠原 演習
25	模擬店舗②	夏休み前のまとめ・復習	小池・高野・小笠原 演習
26	モダンスタイル	クラシックスタイルとモダンスタイルの考え方の違い	小池・高野・小笠原 講義・演習
27	モダンスタイル	花束・アレンジメント パラレル フリーセンデンス	小池・高野・小笠原 演習
28	ブライダル装花	結婚式の花について 両親贈呈用花束	小池・高野・小笠原 講義・演習
29	ブライダル装花	メイン装花 花冠	小池・高野・小笠原 演習
30	ブーケ・ブートニア	ブーケについて ホルダーブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野・小笠原 講義・演習
31	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野・小笠原 演習
32	ブーケ・ブートニア	ホルダーブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野・小笠原 演習
33	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野・小笠原 演習
34	テスト メイン装花・ブーケ	ブライダル メイン装花 ホルダーブーケ ブートニア	小池・高野・小笠原 演習
35	テスト ブーケ	ワイヤリングブーケ ブートニア	小池・高野・小笠原 演習
36	資材の扱い方①	現場視察 松村工芸 アンナサッカ東京	小池・小笠原 見学
37		現場視察 A S C A商会 ショールーム	小池・小笠原 見学
38	※V I D E O 視聴	2年生フラワーデザイン授業 (デザイナー) V I D E O 視聴	
39	花束	基礎型の総まとめ・総復習 (ラウンド・ワンサイド)	小池・高野・小笠原 演習
40	アレンジメント	基礎型の総まとめ・総復習 (クラシック 立体構成・直線構成 ほか)	小池・高野・小笠原 演習
41	模擬店舗③	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野・小笠原 講義・演習
42	模擬店舗④	花選びや色合わせを中心に学ぶ	小池・高野・小笠原 演習
43	年中行事の花飾り①	クリスマスに関する知識の習得 フレッシュリース	小池・高野・小笠原 講義・演習
44		クリスマス センターピースアレンジメント アドベントアレンジメント、入口ツリー装飾	小池・高野・小笠原 演習
45	年中行事の花飾り②	お正月に関する知識の習得 お正月のギフトアレンジメント	小池・高野・小笠原 講義・演習

46	年中行事の花飾り②	花束 お正月のウェルカムアレンジメント	小池・高野・小笠原 演習
47	模擬店舗⑤	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野・小笠原 演習
48	模擬店舗⑥	植物の持つキャラクターを学ぶ	小池・高野・小笠原 演習
49	模擬店舗⑦	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野・小笠原 演習
50	模擬店舗⑧	オーダーシートの書き方や接客方法を学ぶ	小池・高野・小笠原 演習
51	資材の扱い方②	様々な資材の活用方法 (株式会社東京堂・ショールーム)	株式会社 東京堂 小池・小笠原 引率
52		見学・購入 卒業作品展で販売する商品の材料を購入	株式会社 東京堂 小池・小笠原 引率
53	テスト：模擬店舗⑨	テスト 花束	小池・高野・小笠原 演習
54	テスト：模擬店舗⑩	テスト アレンジメント	小池・高野・小笠原 演習
55	資材の扱い方③	東京堂で購入した資材を使用して、卒業作品展で販売する商品制作	小池・高野・小笠原 演習
56		発表 まとめ	小池・高野・小笠原 講義・演習
57	まとめ	一年間の総まとめ	小池・高野・小笠原 演習
58	展示会見学	関東東海花の展覧会 (池袋サンシャインシティ) 見学	小池・小笠原 見学引率
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2021年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワーデザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数		240	単位数	8
授業概要	基本的な知識と技術をベースに、より実践的な装飾方法や応用技術・企画の仕方などを習得する。	到達目標	1年次に学んだ基礎技術を発展させ、お客様のご要望に沿った企画・商品制作ができるようすることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	小池智子 元生花店勤務 基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開。					
	花井茂 生花店経営・デザイナー 葬儀の花、店頭での商品制作など実践に基づいた技術指導を行う。					
	今野亮平 ギフト商品販売会社経営 ディスプレイ装飾の実践や特殊資材を用いた商品の制作技術を指導。					
	武田千菜 ドイツで学び、生花店勤務経験で得たドイツデザインの基本を、理論と実践で指導。					
	㈱東京堂 所属デザイナーによる造花など自社製品を使った作品のデモと商品企画のノウハウを指導。					
	熊谷佳子 パーソナルカラー診断の実践経験をもとに、個人の個性と花の色合わせを、理論と実践で指導。					
	峰岸喬 生花店経営・フローリスト 大手結婚式場に長年勤務した経験を活かし、実践に基づいた技術指導。					
	レン・オーケメイド 国内外で数々のデモ・イベント装飾を行うオランダマスタークリエイターが、デザイン技術を実践指導。					
	中三川聖次 アトリエ主宰 切花仕入れ担当や輸入会社のオランダ業務・検疫担当等の経験を活かし、実践的授業を展開。					
	高野真樹子 実習店舗や生花店での販売員の経験をもとに、売れる商品づくりの企画デザインを指導。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	基礎復習①	花材別水揚げ方法の復習	小池 講義・演習
2	基礎復習②	花束・アレンジメント・ラッピング	小池 演習
3	模擬店舗①	母の日に向けて	小池 演習
4	模擬店舗②	予算・用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
5	基礎復習③	オールラウンドアレンジメント・花束	小池 演習
6	基礎復習④	ワンサイドアレンジメント・花束 ホルダーブーケ	小池 演習
7	パーソナルカラー①	パーソナルカラーを意識した花合わせ・色合わせ	熊谷 講義・演習
8	パーソナルカラー②	パーソナルカラーを意識した花束・アレンジメント	熊谷 演習
9	模擬店舗③	予算・用途に合わせた花束	花井 演習
10	模擬店舗④	予算・用途に合わせた花束・アレンジメント	花井 演習
11	ヨーロピアンデザイン①	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
12	ヨーロピアンデザイン②	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
13	ヨーロピアンデザイン③	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
14	ヨーロピアンデザイン④	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
15	日本人デザイナーによる ワークショップDay	デモンストレーション見学	今野 講義・演習
16		個人での作品制作 講評	今野 講義・演習

17	商品制作①	プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
18	商品制作②	プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
19	空間装飾の仕事①	空間装飾・ディスプレイの仕事	今野 講義・演習
20	空間装飾の仕事②	グループワークによる空間装飾	今野 講義・演習
21	基礎テスト①	テスト：花束・アレンジメント	小池 演習
22	基礎テスト②	ブーケの基礎テスト：ホルダーブーケ・ポートニア	小池 演習
23	活けこみ実習①	現場下見 お茶の水ホテルじゅらく	小池 講義
24	フローリストによる ワークショップDay	デモンストレーション見学	峰岸 講義・演習
25		個人での作品制作 講評	峰岸 演習
26	活けこみ実習②	お茶の水ホテルじゅらく 装飾デザイン考案	小池 講義
27	デザインの発想と構築①	説明・トレーニング	小池 講義
28	デザインの発想と構築②	トレーニング	小池 講義
29	デザインの発想と構築③	思考	小池 講義
30	デザインの発想と構築④	発注	小池 講義
31	活けこみ実習③	お茶の水ホテルじゅらく 装飾デザイン考案・完成	小池 講義
32	パーソナルカラー③	パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ	熊谷 講義・演習
33	パーソナルカラー④	パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ 春・夏・秋・冬	熊谷 講義・演習
34	デザインの発想と構築⑤	実技（形にする）	小池 演習
35	デザインの発想と構築⑥	発表（プレゼンボード）	小池 講義
36	資材類の扱い方①	東京堂にて資材購入	株式会社東京堂 引率
37	資材類の扱い方②	グループ制作用材料購入	株式会社東京堂 引率
38	資材類の扱い方③	東京堂にて資材購入した分のグループ制作	小池 演習
39	お祝い花①	お祝いの贈り花	花井 講義・演習
40	お祝い花②	お祝いのスタンド花 1段・2段、札	花井 演習
41	活けこみ実習④	お茶の水ホテルじゅらく 装飾プレゼンテーション準備	小池 講義
42	活けこみ実習⑤	お茶の水ホテルじゅらく 装飾プレゼンテーション	小池 講義
43	ヨーロピアンデザインテクニック①	オランダマスター フローリストのデモンストレーション見学	レン・オークメイド 講義
44	ヨーロピアンデザインテクニック②	多種多様な資材を使用した作品制作	レン・オークメイド 演習
45	活けこみ実習⑥	お茶の水ホテルじゅらく 装飾花材発注	小池 講義
46	フローリストによる ワークショップDay	デモンストレーション見学	中三川 講義・演習
47		個人での作品制作 講評	中三川 演習

48	活けこみ実習⑦	お茶の水ホテルじゅらく 装飾制作	小池 演習
49	活けこみ実習⑧	お茶の水ホテルじゅらく 装飾納品	小池 演習
50	活けこみ実習⑨	お茶の水ホテルじゅらく 装飾メンテナンス	小池 演習
51	ウィンドウディスプレイ	クリスマス装飾・お正月装飾	小池 演習
52	活けこみ実習⑩	お茶の水ホテルじゅらく 装飾撤去・片付け・反省会	小池 演習
53	模擬店舗⑤	花束・アレンジメント	小池 演習
54	模擬店舗⑥	花束・アレンジメント	小池 演習
55	模擬店舗⑦	花束・アレンジメント	小池 演習
56	模擬店舗⑧	花束・アレンジメント	小池 演習
57	テスト：模擬店舗⑨	テスト：花束・アレンジメント	小池 演習
58	テスト：模擬店舗⑩	テスト：花束・アレンジメント	小池 演習
59	模擬店舗（総まとめ）	2年間の総まとめ	小池 演習
60		花束、アレンジメント、ブーケ、ワイヤリングテクニック等	小池 演習
他教科との関連 フラワービジネス プライダルフラワー		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワービジネス			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数		90	単位数	3
授業概要	花き園芸ビジネスに必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術や商品陳列など、販売促進につながる技術の基礎を学ぶ。			到達目標	接客に際しては、お客様に不快感を与えない接客を。包装技術は、プロの販売員として恥ずかしくない包装を。商品陳列などの販売促進技術は、確実な効果のみられるものをそれぞれ目指す。	
担当教員 プロフィール	水本寿美江	国内外の生花店などで販売員として勤務した経験があり、その実務経験に基づいてフローリスト養成に向けた授業を展開。				
	高野真樹子	生花店での勤務経験をもとに、売れる商品づくりの基礎を指導。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして実務を行う。				
	鐵倉令子	POP広告クリエーターとして活動。POP広告制作や商品ディスプレイの実務経験をもとに、フラワーショップでの効果的な販売促進テクニックを指導する。				
テキスト・教材	フラーデザインのための花の教科書 自作プリント 手描きPOP広告基本マニュアル 販売技術 水揚げ&花のケア					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート0% 実技20% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ビジネス概論①	接客マナーの基本について 心構え	水本 講義
2	ラッピングの種類と技術①	リボンワーク 花束ラッピング（1本包み）	水本・高野 演習
3	ラッピングの種類と技術②	リボンワーク復習 花束ラッピング（筒包み・合わせ包み）	水本・高野 演習
4	ラッピングの種類と技術③	鉢物ラッピング 箱詰め梱包作業と宅配・配送について	水本・高野 演習
5	ビジネス概論②	冠婚葬祭と植物の関わり	水本 講義
6	ビジネス概論③	暮らしの歳時記と植物の関わり (接客マナーに関する課題)	水本 講義
7	商品管理と陳列	商品管理の基本と陳列（切花・鉢物・苗物）	水本 講義
8	ビジネス概論④	花贈りのマナーとポイント	水本 講義
9	ビジネス概論⑤	販売業務の基本について チェックテスト	水本 講義
10	テスト①	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
11	POP広告①	POP広告とは? POP文字の書き方を学ぶ	鐵倉 講義・演習
12	POP広告②	POP文字の書き方の復習 プライスカードの制作手順を学ぶ	鐵倉 講義・演習
13	POP広告③	ブラックボードPOPの役割 手描きPOP制作	鐵倉 講義・演習
14	POP広告④	商品ディスプレイにおけるPOPの役割 まとめ	鐵倉 講義・演習
15	ショップ研究①	リサーチ方法説明 各グループごとにリサーチ場所検討	水本 講義・演習
16	ショップ研究②	リサーチ場所決定・各自リサーチ	水本 講義・演習
17	ショップ研究③	各自リサーチ・レポート制作	水本 講義・演習
18	ショップ研究④	各グループごとにディスカッション 発表・レポート提出	水本 講義・演習
19	商品制作 クリスマス①	ドライ素材・プリザーブドフラワーを使用した クリスマス向け商品の制作	高野 演習
20	商品制作 クリスマス②	実習店舗で販売するためのクリスマス商品の制作	高野 演習
21	商品制作 お正月①	アーティフィシャルフラワーを使用した お正月向け商品の制作	高野 演習
22	商品制作 お正月②	実習店舗で販売するためのお正月商品の制作	高野 演習
23	テスト②	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
フラワーデザイン インターンシップ		特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業 補講となる。	

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワービジネス			履修区分	<input checked="" type="radio"/> 必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 演習			見学
開講時期	通年		時間数	90時間	単位数	3
授業概要	園芸実務に必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術など販売促進に繋がる技術の応用を学ぶ。また、花業界に関わりのある様々な仕事に就いている先生の話や卒業生の体験談を聞き、フラワーショップや園芸店の経営の要点や実際を学ぶ。		到達目標	生花店運営における実務内容の理解度を深め、実習・演習を通してマーケティングの視点からフラワービジネスを理解することを目標とする。		
担当教員 プロフィール	武田千菜 元大手生花店・本校実習店舗での勤務経験から販売員として必要な接客マナーと技術を指導 水本寿美江 元生花店勤務の経験から、商品管理、陳列など実践に基づいた授業展開を行う 佐貫一恵 元大手生花店勤務 本校実習店舗チーフとして、豊富な経験をもとに学生の実習指導にあたる 高野真樹子 本校卒業生で元生花店販売員 本校実習店舗にて接客や商品制作の指導にあたる 花井茂 生花店経営者 フローリストに求められる素養・技術・資格などについて講義する 佐々木久満 生花店経営者 店舗運営 新店舗・新規事業拡大、など経営の実態について講義する 藤井大 仲卸会社勤務 生花・園芸仲卸の仕事について、生産者や小売店との関わりについて講義する 所奈津美 元大手生花店勤務 全国チェーンの店舗展開の生花店の仕事、経営の実態について講義する 草柳智一 園芸資材商社勤務 資材卸売業の仕事内容と小売店との結び付きについて講義する 川本幸代 カフェを併設した生花店を経営 花カフェの魅力とその経営の実態について講義する					
テキスト・教材	自作プリント 園芸ビジネス 冠婚葬祭マナー事典					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験65% レポート0% 実技35% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸ビジネス 包装の種類と技術①	接客マナーの復習 花束制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
2	園芸ビジネス 包装の種類と技術②	接客マナーの復習 アレンジ制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
3	園芸ビジネス 包装の種類と技術③	接客マナーの復習 鉢物ラッピングバリエーションと宅配梱包作業実践	武田 講義・演習
4	園芸ビジネス 復習	接客サービスと商品管理・花贈りのマナーの基本 1年次の復習とチェックテスト	水本 講義
5	ショップ経営①	生花店経営の実際①（運営の基本）	花井 講義
6	ショップ経営②	生花店経営の実際②（都市部と地方の違い）	佐々木 講義
7	ショップ経営③ ショップ経営④	花き仲卸業の役割とは 全国チェーンの生花店の経営の実際	藤井（1コマ）講義 所（1コマ）講義
8	ショップ経営⑤ ショップ経営⑥	問屋の仕事・資材について 流行のフラワーカフェの経営の実際	草柳（1コマ）講義 川本（1コマ）講義
9	品種名テスト 第1回 水揚げ150種テスト 第1回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
10	プリザーブドフラワー商品制作①	説明・企画	高野 講義
11	プリザーブドフラワー商品制作②	企画	高野 講義
12	プリザーブドフラワー商品制作③	材料購入	高野 講義
13	プリザーブドフラワー商品制作④	制作	高野 演習
14	プリザーブドフラワー商品制作⑤	制作	高野 演習
15	プリザーブドフラワー商品制作⑥	まとめ	高野 講義
16	店舗設計	フラワービジネスのマーケティング 売れるショップ作り	水本 講義
17	店舗設計	フラワービジネスのマーケティング 売れるショップ作り	水本 講義
18	品種名テスト 第2回 水揚げ150種テスト 第2回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
19	店舗実習①	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習
20	店舗実習②	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習
21	店舗実習③	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習
他教科との関連 フラワーデザイン インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業 補講となる。	備考

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	デザイン			履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	見学
開講時期	4月～5月	時間数		15	単位数	0.5
授業概要	構成力・描写力・空間に対しての認識等を培い、ビジュアル表現においてのコミュニケーション能力を身に付ける。			到達目標	作業に参加し、課題を完成させていくことで、デザインの基本概念への理解を促していくことを目標とする。	
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	つないで見る 点・線・面・立体とは？	観察する・伝える 「～している人」を点描により線・面をつないで描画する	講義・演習
2	構成デザインの簡単体験	バラバラにしてみる 集めてみる	講義・演習
3	幾何形態を描く	基本的形の理解 陰影、遠近感（遠近法）の表現	講義・演習
4	かたちで見る	ブレインストーミング プロポーションの変化 シンメトリーを探す	講義・演習
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ) 180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	デザイン			履修区分	必修	選択		
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学		
開講時期	9月	時間数	30		単位数	1		
授業概要	1年次に学んだデザインの基本的な知識と技術をベースに、より実践的な表現方法や応用技術、プレゼンテーションの仕方などを習得する。				到達目標	実際のプレゼンテーションの場において役立つ、ベースやデザイン画の描き方、空間を表現する力を身に付ける。		
担当教員 プロフィール	東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。 徳永雅之				認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		
テキスト・教材	自作プリント							
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	スケッチから伝える①	モチーフをスケッチ	徳永 講義・演習
2	スケッチから伝える②	モチーフをスケッチ・講評	徳永 演習
3	スケッチから伝える③	写真を見て描く・プレゼンボードの完成	徳永 講義・演習
4	スケッチから伝える④	プレゼンテーション・講評	徳永 講義・演習
5	スケッチから伝える⑤	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
6	スケッチから伝える⑥	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
7	スケッチから伝える⑦	空間表現	徳永 講義・演習
8	スケッチから伝える⑧	空間表現	徳永 講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	植物の基礎知識			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～7月	時間数	45	単位数	1.5	
授業概要	植物は、私たちの生活にとってなくてはならないものである。この植物を扱う園芸業界でスペシャリストとして活躍するため、基本的な植物に関する知識を身に付けることを目的とする。		到達目標	植物の性質や分類、生態に関する用語や知識を理解することを目標とする。		
担当教員 プロフィール	草間さきく 中学・高校の「理科」教員免許を持ち、非常勤講師として中学・高校・大学で教鞭をとった経験がある。専門分野である生物学の知識をもとに演習を交えながら、植物の基礎知識をより分かりやすく講義する。					
テキスト・教材	園芸・植物用語集（淡交社）、鉢花ハンディ事典（NHK出版）、自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス 課題について 植物の分類	植物とウイルス 植物の名前と学名 鉢花ハンディ事典と園芸・植物用語集の使い方	講義
2	植物の構造	細胞の構造、器官（根・葉・茎）や花の構造	講義
3	被子植物の生殖と繁殖	花と種子のでき方 無性生殖と有性生殖	講義
4	遺伝の基礎	遺伝と変異 品種改良	講義
5	植物の生理生態①	種子の発芽、光合成、呼吸	講義
6	植物の生理生態②	刺激に対する応答と植物ホルモン	課題
7	植物の生理生態③	植物の栄養 土壌や肥料の種類、性質	講義
8	植物の進化と多様性	コケ、シダ、裸子植物、被子植物	講義
9	植生の多様性	植生 バイオーム	講義
10	植物の色と香り	香りの働き 花の色素	講義
11	まとめ テスト		講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
花と緑の商品知識 I		特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	1回(2コマ)180分授業 毎回の課題は次週の授業の最初に提出

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	花の文化			履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～7月	時間数	30		単位数	1
授業概要	古くから人が花や緑とどのように関わってきたか、その歴史文化が現在の園芸ビジネスに至っていることを理解する。			到達目標	行事、花、園芸の用語を理解すること。	
担当教員 プロフィール	伊達啓子 花の歴史と文化の研究家として多くの専門誌に寄稿され、花や植物と我々の生活との関わりや文化的発展について講義する。 日野原健司 大田記念美術館主席学芸員。浮世絵の研究家。江戸時代の浮世絵にみる日本における園芸文化の発展を解説、講義する。 知地正和 小原流いけばな研究院助教授。いけばなの歴史と伝統、その技と魅力をデモンストレーションを交えてわかりやすく伝える。			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート20% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	古代の花文化	多神教と植物崇拜 西アジア、エジプト、ギリシャ、ローマ、ケルト	伊達 講義
2	中世の花文化	イスラム園芸の影響 キリスト教と花のシンボリズム、キリスト教の行事と花	伊達 講義
3	近世ヨーロッパの栽培とガーデニング	ヨーロッパ園芸の歩み イタリア、オランダ、フランス、イギリス	伊達 講義
4	19～20世紀の園芸の変遷 花を飾る歴史	イギリス 19～20世紀の栽培・庭園 フラワーアレンジの歴史、イベントと花	伊達 講義
5	花を飾る歴史 日本人と花の伝統	冠婚葬祭の花の変遷、古代から中世の花文化	伊達 講義
6	日本人と花の伝統 筆記試験	五節句と花の行事 テスト	伊達 講義
7	華道の魅力	華道の歴史とその魅力について知る	知地 講義 デモンストレーション
8	江戸の園芸	江戸園芸文化を浮世絵を通して知る	日野原 講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業
フラワーデザイン ガーデニング フラワービジネス			

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	カラーコーディネート			履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	見学
開講時期	4月～6月	時間数	30		単位数	1
授業概要	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせや造形力に活かす。			到達目標	色彩の基礎知識と配色調和を理解することを目標とする。	
担当教員 プロフィール	熊谷佳子	一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者。ファッションデザインの現場を経て、カラーコーディネーターへ。企業研修においてさまざまな色彩講座を担当。パソコンカラー分析など色彩関連の講演・講座活動も多く手掛ける。その経験をもとに、フラワーデザインにおける色彩の重要性を実践を交えた授業形式で展開していく。				
テキスト・教材	自作プリント カラー＆ライフ（色研事業）新配色カード199a					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	色の仕組み①・②	色の種類と性質 PCCS(色相とトーン)・色名	講義
2	色の仕組み③・④	実習「カラーサークル」 トーンと等色相面・色立体	演習・講義
3	配色のルール①	色相配色	講義
4	確認テスト① 配色の実践	確認テスト、解答・解説 実習「配色を意識したラウンドアレンジメント」	演習・講義
5	配色のルール②	トーン配色・アクセントカラー他 応用	講義
6	色の生じる原理 売り場づくりと色	光と色・色覚 ユニバーサルカラーとディスプレイ	講義
7	確認テスト② 色彩心理	確認テスト、解答・解説 色の対比と心理的効果	講義
8	色でイメージを表現する イメージ表現の実践	配色表現の応用 実習「色のイメージを意識した花束」	演習・講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
フラワーデザイン グリーンデザイナー フラワービジネス		特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	1回(2コマ) 180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸流通			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～7月	時間数		30	単位数	1
授業概要	フラワービジネス業界で働く人たちが知っておかなければならない業界の仕組みと役割及び現状と今後について理解させる。			到達目標	フラワービジネス業界の基本的な仕組みの概要と役割を理解することを目標とする。また、その中でいかに知識と技術をしっかりと身に付けるべきかを理解させる。	
担当教員 プロフィール	松田岑夫 元静岡県農業試験場勤務。長年花き生産技術の開発や花卉市場での流通に関わる分野に携わってきた経験をもとに、フラワー業界の概要を講義する。					
テキスト・教材	自作プリント スライド					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート90% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸流通を学ぶにあたって	園芸流通の分野にはどのようなものがあるか? フラワービジネスと情報の収集について	講義
2	①種苗産業 ②花き生産(栽培) ③輸入・輸出	種苗産業の動向と国内の花き生産状況について 「花と緑」の輸入・輸出の状況と仕組みについて	講義
3	④市場（卸売業・仲卸業） ⑤花束加工業	市場の機能と仕入れ方法等と市場外流通について 花束加工業の仕組み	講義
4	⑥小売業 ⑦-1フラワーショップ I	小売業の役割について フラワーショップのいろいろな形態と現状について	講義
5	大田市場見学	セリの見学	見学
6	⑦-2フラワーショップ II ⑧通信配達 ⑨冠婚葬祭業	フラワーショップの今後と通信配達の現状について 冠婚葬祭業の現状について	講義
7	⑩園芸店・ガーデンセンター⑪量販店 ⑫資材業 ⑬通信販売業	「花と緑」の取り扱い状況・量販店での取扱 各種資材業とインターネットビジネスについて	講義
8	⑭園芸装飾(貸鉢)業 ⑮造園绿化業 ⑯社会園芸	インドアにおける「花と緑」の利用状況と貸鉢業概要 造園業界の概要と環境・園芸療法や花育について	講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ) 180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネスマナー			履修区分	<input checked="" type="radio"/> 必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義	実習	<input checked="" type="radio"/> 演習	見学
開講時期	6月～9月	時間数	30		単位数	1
授業概要	学生気分を切り替えて社会に適応できる人材を育成する。ビジネスマナーの基本を身に付け、多様な人々とのコミュニケーションを取れるよう、また、セルフエスティームを高め、自信を持って社会で活躍できる人材を目指す。			到達目標	コミュニケーションの重要性、ビジネスマナーの意味を理解する。自分の言葉で伝える力を身に付ける。自分にとっての「働く」意味を考え、長期のキャリアビジョンを考える。	
担当教員 プロフィール	法林孝子 キャリアコンサルタントとして求職者支援訓練等に長年携わり、転職・再就職時のキャリアプランニングや模擬面接指導などを行ってきた経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験15% レポート0% 実技0% 発表15% その他（出席率・授業態度など）70%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	リエンテーション・アイスペイク 組織で働くとは	学生と社会人の違い なぜマナーが大切なのか 自分にとっての「働く意味」を考える	講義・演習
2	コミュニケーションの成立要件とステップ ビジネスマナーの基本①	成立要件とステップについて解説 傾聴力を磨く	講義
3	ビジネスマナーの基本②③	大人の言葉遣い 電話・メール対応	講義・演習
4	ビジネスマナーの基本④⑤	接客応対 アクティブラッシングを活用した指示命令の受け方	講義・演習
5	ビジネスマナーの基本⑥⑦	報・連・相 チームビルディング	講義・演習
6	キャリアビジョンを考える 自己分析①	自分にとっての「働く」意味を考える 未来像を描いてみる 仕事選びの軸を考える	講義・演習
7	自己分析② 企業研究と求人検索	コンピテンシーの確認 企業の求める人物像を探る 求人票の見方	講義・演習
8	応募書類の意義と書き方 まとめとテスト	自己PR 志望動機 面接の流れ解説 理解度テスト 質疑応答・フリーディスカッション	講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
インターナシップ フラワービジネス		特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネスマナー			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～9月	時間数	45	単位数	1.5	
授業概要	就職試験に向け、好感をもたれるマナーを身につける。自分自身のコミュニケーションの傾向を知り、新しい環境への不安を払拭する。社会人として的確な生活設計を立てるために保険や年金などお金のことを学ぶ。	到達目標	自信を持って自己PRができるようにする 的確な言葉遣いができるようにする 文章力と表現力を身に付ける 税金や社会保障の仕組みを理解する			
担当教員 プロフィール	法林孝子 キャリアコンサルタントとして求職者支援訓練等に当たってきた経験をもとに、就職活動を想定した模擬面接など実践を取り入れた授業を開展する。 森川敏彦 大手生命保険会社に勤務。ファイナンシャル・プランナーの視点から税金・社会保障の仕組みを分かりやすく講義。ゆとりあるライフプランと働き方について考える。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート20% 実技0% 発表30% その他（出席率・授業態度など）50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ビジネスマナー演習①	1年次理解度テストの振り返り 挨拶・身だしなみ・感じの良い言葉遣いとマジックフレーズ	法林 講義・演習
2	ビジネスマナー演習②	面接を意識した演習（電話応対・訪問マナー・名刺交換）	法林 講義・演習
3	履歴書を完成させる	会ってみたいと思ってもらえるような履歴書づくり 送付状・封筒の書き方、写真の重要性	法林 講義
4	志望動機・自己PRを考える	企業研究の方法、働く自分をイメージしながら志望動機を考える、エピソードからコンビテンシーを見つける	法林 講義・演習
5	伝える力を磨く	伝える≠伝わるを知る 分かりやすく・簡潔に・印象深く伝える練習	法林 講義・演習
6	面接練習①	面接の目的と採用側の視点 面接の流れを中心にロールプレイング	法林 演習
7	面接練習②	特定の企業を想定し、模擬面接実習（個人・グループ） 逆質問の重要性・全体を振り返っての質疑応答	法林 演習
8	グループディスカッション	グループディスカッションワーク・説明力を磨くワーク 評価基準 合否それぞれの傾向	法林 演習
9	ビジネスマナーの振り返り	新入社員としての心構え 報告・連絡・相談 全体を振り返っての質疑応答 学年末課題	法林 講義
10	お金のことを学ぶ時代	ファイナンシャル・リテラシーとライフデザイン	森川 講義
11	税金・社会保障について	税金・年金・保険 チェックテスト	森川 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	時事教養			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	現代社会の諸問題について、その背景と課題を考えていく力をつける。 生活環境・文化についても関心を深め知識の向上を図る。		到達目標	各テーマで提示される資料やデータを読み取ることができる。 問題の背景を指摘し、自分なりの考えを表現できるようにする。		
担当教員 プロフィール	堀切昌美 通信制高校や専門学校などで文章・言語表現の指導、ディスカッション指導の経験を持つ。世間で関心の高い時事問題を取り上げ、グループ・ディスカッションを通して問題を掘り下げ考える力と自分なりの考えを表現できる力を養う授業をおこなう。					
テキスト・教材	新聞・雑誌・政府刊行物・自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験30% レポート50% 実技0% 発表20% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	授業内容説明・評価について 自己の関心	講義・演習
2	人口減少社会①	少子化について	講義・演習
3	人口減少社会②	高齢化について	講義・演習
4	格差社会	格差の種類 格差の何が問題か	講義・演習
5	ノーマライゼーション	生きやすい社会とは	講義・演習
6	グローバル化	外国人増加のメリット・デメリット	講義・演習
7	高度情報社会	情報化の進展・AI	講義・演習
8	暮らしと環境①	「食」の問題、食品ロス	講義・演習
9	暮らしと環境②	「住」「衣」を考える	講義・演習
10	SDGs	持続可能社会に向けて	講義・演習
11	人間関係・コミュニケーション	コンセンサスゲーム	講義・演習
12	授業の振り返り	プレゼン計画	講義・演習
13	プレゼンテーション①	個人発表またはペア・グループ発表	講義・演習
14	プレゼンテーション②	個人発表またはペア・グループ発表	講義・演習
15	授業まとめ	確認小テスト	講義
他教科との関連 ビジネスマナー インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(1コマ)90分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネス能力検定3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を学び、ビジネス能力検定3級の合格を目指す。	到達目標	ビジネス能力検定3級試験に合格することを目標とする			
担当教員 プロフィール	堀切昌美 自身の販売員としての社会経験と就職対策講師としての経験をもとに、大学・専門学校などでビジネス能力検定試験対策講座の非常勤講師を務めている。ケーススタディをベースに分かりやすく講義、合格率100パーセントを目指す。					
テキスト・教材	ビジネス能力検定「ジョブパス」3級 2021年度版（実教出版）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	自己紹介、授業で学ぶこと	講義
2	キャリアと仕事へのアプローチ①	組織人としての重要な心構え	講義
3	キャリアと仕事へのアプローチ②	指示の受け方と報告・連絡・相談	講義
4	ビジネスマナーの基本	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	講義
5	仕事への取り組み	マニュアル化、スケジュール管理 小テスト①	講義・演習
6	会社活動の基本	組織について、役割	講義
7	ビジネス文書の基本	社内文書と社外文書	講義
8	授業の振り返り	ビジネス用語の確認	講義
9	過去間に挑戦①	ビジネスの基本分野の復習	講義
10	過去間に挑戦②	新聞記事とケースの問題 小テスト②	講義・演習
11	統計データの読み方	数値把握、手順	講義
12	会社数字の読み方	基礎知識	講義
13	過去間に挑戦③	演習	講義・演習
14	授業まとめ	単位認定試験	講義・演習
15	実践編	「会社ゲーム」から考える	講義・演習
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
ビジネスマナー 時事教養		特ではないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	1回(1コマ)90分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花と緑の商品知識 I			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～1月	時間数	90	単位数	3	
授業概要	生花店・園芸店で取り扱う園芸植物・資材の主要品目について、その特徴や種類、取扱い方法などについて学ぶ。	到達目標	代表的な植物や資材に対するお客様からの間に答えられる最低限の知識の習得を目標とする。出回り時期、観賞時期、店頭での主な管理方法、園芸の分類、花色など			
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。 山本裕隆 自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。					
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編（NHK出版）・ これから始める山野草（栃の葉書房）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス	フォーマットの書き方／園芸の分類	大久保 講義
2	花壇苗・鉢物①	初夏～夏に出回る植物 1	大久保 講義
3	花壇苗・鉢物②	初夏～夏に出回る植物 2／夏の植物管理	大久保 講義
4	ハーブ	人気のあるハーブとその管理	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物③	初夏～夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	花壇苗・鉢物④	初夏～夏に出回る植物 4	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	夏～秋に出回る植物 1	大久保 講義
8	花壇苗・鉢物⑥	夏～秋に出回る植物 2	大久保 講義
9	花壇苗・鉢物⑦	夏～秋に出回る植物 3	大久保 講義
10	樹木①	良い苗の選び方・植え付け方	大久保 講義
11	樹木②	人気のある木本の紹介（花木・香木等）	大久保 講義
12	花壇苗・鉢物⑧	秋～冬に出回る植物 1	大久保 講義
13	花壇苗・鉢物⑨	球根植物の種類と植え付け方法	大久保 講義
14	花壇苗・鉢物⑩	秋～冬に出回る植物 2	大久保 講義
15	花壇苗・鉢物⑪	秋～冬に出回る植物 3	大久保 講義
16	山野草①	山野草とは	山本 講義
17	山野草②・盆栽	山野草の管理・盆栽について	山本 講義
18	多肉植物・サボテン	多肉・サボテンとは／主な管理方法	大久保 講義
19	園芸資材	コンテナの素材と形 ほか	大久保 講義
20	花壇苗・鉢物⑫	年末商品	大久保 講義
21	花壇苗・鉢物⑬	冬～初春に出回る植物 1	大久保 講義
22	花壇苗・鉢物⑭	冬～初春に出回る植物 2／冬の植物管理	大久保 講義
23	花壇苗・鉢物⑮	冬～初春に出回る植物 3	大久保 講義
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
グリーンデザイン フラワービジネス		特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	花と緑の商品知識 II			履修区分	必修	選択					
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学					
開講時期	4月～10月	時間数	45	単位数	1.5						
授業概要	主な植物の種類や性質の把握 季節に応じた草花・花木・鉢物などの商品知識・店頭管理や栽培の基礎知識の習得		到達目標	代表的な植物や資材に対する顧客からの最低限の問い合わせに答えられる程度の知識の習得（出回り時期、観賞時期、管理方法、園芸的分類、花色など）							
	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。										
	石井康之 種苗会社勤務 種苗会社の役割と野菜苗の品種開発の現状について講義する。										
担当教員 プロフィール	草間祐輔 園芸研究家 家庭園芸での薬剤の使い方について実践的な指導を行う。										
	テキスト・教材 鉢花ハンディ事典（NHK出版）・植物の病気と害虫 防ぎ方・直し方（主婦の友社）・自作プリント										
	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。							

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花壇苗・鉢物①	春～初夏に出回る植物 1	大久保 課題
2	花壇苗・鉢物②	春～初夏に出回る植物 2	大久保 課題
3	花壇苗・鉢物③	カラーリーフ・芝生・下草	大久保 課題
4	樹木①	春～初夏に園芸店に出回る花木・香木 1	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物④	春～初夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	樹木②	春～初夏に園芸店に出回る花木・香木 2	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	初夏～夏に出回る植物 復習	大久保 講義
8	野菜類①	種苗会社の仕事について	石井 講義
9	野菜類②	野菜の種子・おすすめ野菜などについて	石井 講義
10	土・肥料・薬品①	病害虫に対する薬品の種類と使用上の注意点	草間 講義
11	土・肥料・薬品②	植物に適した土や肥料の選び方	草間 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	グリーンデザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～2月	時間数		60	単位数	2
授業概要	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を学び、指導できるレベルを目指す。			到達目標	園芸作業を行うために必要な基礎知識と制作技術の習得は必須である。	
担当教員 プロフィール	中道光子 グリーンアドバイザー（園芸ソムリエ）・ハンギングバスケットマスター 日比谷公園内企業花壇の管理指導、花育活動や福祉施設での園芸療法、家庭園芸の普及指導など長年にわたる指導の経験から、園芸作業の基礎をわかりやすく講義・実践指導する。					
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編 (NHK出版) ・ 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート10% 実技50% 発表30% その他（出席率・授業態度など）10%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸基礎作業①	用土・肥料・鉢・管理の基本	講義・演習
2	小作品制作①	日当たりを好む植物の寄せ植え	講義・演習
3	園芸基礎作業②	株分け	講義・演習
4	園芸基礎作業③	種まき	講義・演習
5	小作品制作②	日陰を好む植物の寄せ植え	講義・演習
6	小作品制作③	水生植物について	講義・演習
7	小作品制作④	多肉植物・サボテンの寄せ植え	講義・演習
8	小作品制作⑤	季節の寄せ植え(ハンギングバスケット)	講義・演習
9	イベント見学	日比谷公園ガーデニングショー	見学
10	小作品制作⑥	球根植物の寄せ植え（クリスマスをテーマ）	講義・演習
11	指導実践①	模擬園芸教室 計画・準備	講義・見学
12	指導実践②	模擬園芸教室 制作・発表	演習
13	指導実践③	模擬園芸教室 制作・発表	演習
14	指導実践④	模擬園芸教室 制作・発表	演習
15	指導実践⑤	まとめ	講義
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
グリーンコーディネート ガーデニング		特ではないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	同じ内容の授業を、コース別に分けて行う 1回(2コマ)180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	グリーンコーディネート			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数	30		単位数	1
授業概要	インテリアプランツ（観葉植物）についての基礎知識を学び、それらをコーディネートすることにより良い空間をデザインする技術を学ぶ。自然の植物との関わり方、管理を学ぶ。			到達目標	インテリアプランツ（観葉植物）の特性を知り、その基本的な管理方法を理解することが目標である。	
担当教員 プロフィール	中道光子	グリーンアドバイザー（園芸ソムリエ）・ハンギングバスケットマスター 家庭園芸の普及指導、インテリアグリーンの普及活動など長年にわたる経験から、観葉植物の楽しみ方を多くの方に知ってもらうためのノウハウを指導する。				
テキスト・教材	はじめての観葉植物・多肉植物 選び方と育て方（西東社）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート30% 実技60% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション グリーンコーディネートについて	自己紹介 授業内容と進め方 知っている観葉植物についてレポートにまとめる	講義
2	グリーンインテリアの基礎①	インドアグリーンとして使用する植物を知る (樹形、色彩、管理)	講義
3	グリーンインテリアの基礎②	10種類を選び、自分だけのミニ図鑑作成	講義・演習
4	仲卸見学	株村田永楽園見学	見学
5	プレゼンボード作成①	新聞のチラシなどを利用し、建物の図面作成	演習
6	プレゼンボード作成②	図面に植物を記入	演習
7	テラリューム作成	用土づくり、植えこみ、管理	演習
8	プレゼンボード発表	1人ずつプレゼンテーション	演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ) 180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ガーデニング			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数		30	単位数	1
授業概要	ガーデニング（家庭園芸）の現状を把握し、基礎知識を学ぶ。植物・資材の選択に必要な要素と各々の特色を学ぶ。植物画を描いて、観察する力を養う。			到達目標	環境に適した植物の選択ができる。 植物画が描くことで、植物の特徴を理解する。 切り花ではない育てる園芸に興味を持つ。	
担当教員 プロフィール	国吉純	園芸関連イベント等での講師をはじめ、住宅関連企業、集合住宅等で家庭園芸の普及活動を続けてきた経験から、「楽しく簡単に華やかに育てる」をモットーに年齢や場所に関係なく植物と触れ、育て、楽しめるガーデニング、植物選び、メンテナンス法などの指導を講義・演習する。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編 (NHK出版) ・ 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート50% 実技20% 発表0% その他（出席率・授業態度など）30%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授業計画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガーデニングとは?①	現代日本のガーデニング事情 植物のデッサン（実習）	講義・演習
2	ガーデニングとは?②	ガーデニングの歴史（西洋・日本） ガーデニングの可能性	講義
3	植物について	植物の種類と植物を活かす技術・方法論	講義
4	庭のデザイン①	デザインの仕方 模型制作（実習）	講義・演習
5	庭のデザイン②	庭を構成する資材・エクステリア 模型制作（実習）	講義・演習
6	寄せ植えの基礎知識と実践	ミニコンテナの寄せ植え（実習） プレゼンテーション資料制作	講義・演習
7	ガーデニングの展望	商業施設・壁面・屋上緑化のデザイン 園芸療法・緑の活用	講義
8	ガーデン見学	晴海トリトンスクエア見学	見学
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ) 180分授業

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸実習			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース A	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	120	単位数	4	
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上（MSK）本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。	到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。 高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。	時間数	120	単位数	4	
テキスト・教材	自作プリント	時間数	120	単位数	4	
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技80% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%	時間数	120	単位数	4	

回	指導項目	指導内容	備考
1	大型コンテナ①-1	春のコンテナ（店舗前）企画	鈴木 講義
2	花壇・菜園植栽管理①	MSK 春花壇の整理と夏野菜の植え付け準備	鈴木 演習
3	大型コンテナ①-2	春のコンテナ（店舗前）制作	鈴木 演習
4	花壇・菜園植栽管理②	MSK 初夏の花壇作りと夏野菜の植え付け	鈴木 演習
5	花壇・菜園植栽管理③	MSK 花壇のメンテナンスと菜園の手入れ	鈴木 演習
6	花壇・菜園植栽管理④	MSK 花壇のメンテナンスと菜園の手入れ	鈴木 演習
7	花壇・菜園植栽管理⑤	MSK 花壇のメンテナンスと菜園の手入れ	鈴木 演習
8	大型コンテナ②-1	夏のコンテナ（店舗前）企画	鈴木 講義
9	花壇・菜園植栽管理⑥	MSK 夏の花壇作りと夏野菜の収穫	鈴木 演習
10	大型コンテナ②-2	夏のコンテナ（店舗前）制作	鈴木 演習
11	ベランダガーデニング①	ベランダガーデニングとは	高山 講義
12	ベランダガーデニング②	メンテナンス作業とテクニック①	高山 演習
13	ベランダガーデニング③	秋のベランダ植栽計画	高山 講義
14	ベランダガーデニング④	秋のベランダ植え替え実習	高山 演習
15	ベランダガーデニング⑤	草花選びと培養土について	高山 講義
16	ベランダガーデニング⑥	顧客の希望に合わせたデザイン企画と提案方法	高山 講義
17	見学	ギフトショー見学	常勤職員 見学
18	ベランダガーデニング⑦	コンテナガーデンの管理方法と肥料について	高山 講義
19	ベランダガーデニング⑧	メンテナンス作業とテクニック②	高山 演習
20	ベランダガーデニング⑨	病害虫防除とプランニング資料の発表	高山 講義

21	ベランダガーデニング⑩	工具の使い方(DIY)	高山 演習
22	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業について	鈴木 講義・演習
23	ベランダガーデニング⑪	冬のベランダ植栽計画	高山 講義
24	ベランダガーデニング⑫	冬のベランダ植え替え実習	高山 演習
25	指導実践②	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
26	ベランダガーデニング⑬	ベランダガーデニング まとめ(テスト)	高山 講義
27	見学	横浜植木㈱園芸展示会見学(A・B合同)	常勤職員 見学
28	指導実践③	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
29	指導実践④	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
30	指導実践⑤	模擬園芸教室 (担当者のみ制作)	鈴木 演習
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
グリーンデザイン 花と緑の商品知識		特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 1回(2コマ)180分授業 補講となる。	

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸実習			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース B	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	120		単位数	4
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上（MSK）本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。			到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目標とする。	
担当教員 プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。 高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。			認定基準	出席席数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技80% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%			認定基準	出席席数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	

回	指導項目	指導内容	備考
1	ベランダガーデニング①	ベランダガーデニングとは	高山 講義
2	ベランダガーデニング②	初夏のベランダ植栽計画	高山 講義
3	ベランダガーデニング③	初夏のベランダ植え替え実習	高山 演習
4	ベランダガーデニング④	草花選びと培養土について	高山 講義
5	ベランダガーデニング⑤	顧客の希望に合わせたデザイン企画と提案方法	高山 講義
6	ベランダガーデニング⑥	コンテナガーデンの管理方法と肥料について	高山 講義
7	ベランダガーデニング⑦	メンテナンス作業とテクニック②	高山 演習
8	ベランダガーデニング⑧	病害虫防除とプランニング資料の発表	高山 講義
9	ベランダガーデニング⑨	工具の使い方(DIY)	高山 演習
10	ベランダガーデニング⑩	盛夏のベランダ植栽計画	高山 講義
11	ベランダガーデニング⑪	盛夏のベランダ植え替え実習	高山 演習
12	ベランダガーデニング⑫	ベランダガーデニング まとめ(テスト)	高山 講義
13	花壇・菜園植栽管理①	MSK 夏花壇の整理と秋野菜の植え付け準備	鈴木 演習
14	大型コンテナ①-1	秋のコンテナ（店舗前）企画	鈴木 演習
15	大型コンテナ①-2	秋のコンテナ（店舗前）制作	鈴木 演習
16	見学	ギフトショー見学	常勤職員 見学
17	花壇・菜園植栽管理②	MSK 秋花壇作りと秋野菜の植え付け	鈴木 演習
18	花壇・菜園植栽管理③	MSK 秋花壇作りと秋野菜の植え付け	鈴木 演習
19	花壇・菜園植栽管理④	MSK 秋花壇作りと秋野菜の植え付け	鈴木 演習
20	大型コンテナ②-1	冬のコンテナ（店舗前）企画	鈴木 講義

21	花壇・菜園植栽管理⑤	MSK 秋花壇の整理と菜園メンテナンス	鈴木 演習
22	花壇・菜園植栽管理⑥	MSK 冬花壇作り	鈴木 演習
23	大型コンテナ②-2	冬のコンテナ（店舗前） 制作	鈴木 演習
24	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業について	鈴木 講義・演習
25	花壇・菜園植栽管理⑦	MSK 冬花壇のメンテナンスと秋野菜の収穫	鈴木 演習
26	指導実践②	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
27	見学	横浜植木株園芸展示会見学(A・B合同)	常勤職員 見学
28	指導実践③	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
29	指導実践④	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
30	指導実践⑤	模擬園芸教室（担当者のみ制作）	鈴木 演習
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ	備考
グリーンデザイン 花と緑の商品知識		特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 1回(2コマ)180分授業 補講となる。	

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	インターンシップ			履修区分	必修	選択		
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学		
開講時期	通年		時間数	120		単位数 4		
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練			到達目標	最低限、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を確実なものとすることが目標である。			
担当教員 プロフィール	カリキュラム全体を統括し学生の就職活動指導を行う教務部長の立場で、受け入れ先企業と連携して各コースの学生に求められる各分野ごとの基礎技術・社会人としての素養が身に付いているか実務経験を通して総合的に判断し指導する。 水本寿美江							
テキスト・教材								
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）50%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	短期アルバイトを兼ねた インターンシップ	週末や母の日・年末など物日に、花き園芸業界でアルバイトをする（5日以上必須）	
2	インターンシップ（2月末）	期間中実動10日間、花き園芸業界で実務を経験する	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	インターンシップ			履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	演習	見学
開講時期	5月・11月		時間数	120		単位数 4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練		到達目標	実務を通して基礎知識・技術の重要性を学び、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を目標とする。		
担当教員 プロフィール	水本寿美江 元生花店勤務。教務部長、就職担当の立場から、各学生の希望に沿った実習先企業を選定・依頼をする。また、カリキュラム全体を統括する立場であることから、各コースごとに学生に求められる基礎技術・資質など企業からの評価と合わせて総合評価をすることができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）50%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	母の日短期アルバイトを兼ねた インターンシップ	期間中3日以上、園芸店もしくは生花店でアルバイトをする	実習
2	インターンシップ	期間中実動12日間、就職内定先または就職希望先で実務を経験する	実習
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2021年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	卒業制作			履修区分	(必修)	選択		
受講対象	2年生 全コース	授業形態	(講義)	実習	(演習)	見学		
開講時期	11月～2月	時間数	30		単位数	1		
授業概要	2年間学んできたことの集大成として、作品を制作し卒業作品展で家族や一般の方々に見ていただく。出品作品を制作する過程を記録し、まとめたものを課題研究とする。			到達目標	自分がけのオリジナルデザイン考え方試行錯誤しながら完成させることを目標とする。また、作品制作の過程を記録することも必須である。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 元生花店勤務。本校教務部長でありカリキュラム全体を統括する立場であることと、豊富な実務経験から、各コースごとに学生に求められる基礎技術・独創性など総合評価をすることができる。							
テキスト・教材	自作プリント							
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート25% 実技75% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。					

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	卒業作品展について説明 作品企画立案	レポートの作成要領と作品規定を説明。 各々作品の構想を練る	講義
2	企画書作成	デザイン案・企画書の詳細を決める	講義・演習
3	企画書完成	デザイン案・企画書を完成させる	講義・演習
4	コンセプト作成	デザインの基本的な思想（方向性）を文章にして表現する	講義・演習
5	花材・資材購入準備 展示プレート用コメント作成	作品を制作するための具体的な準備を進める	講義・演習
6	作品制作	各自、作品制作を行う	演習
7	作品制作	各自、作品制作を行い完成させる	演習
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業